

2020年4月26日(日)朝10:10～ 復活節第3、総会／役員会等
4月第4総会共同主日礼拝式説教 日本アライアンス庄原基督教会

説教題：**あなたは、地の塩です**(13)

聖書:マタイ 5章13～節

＜口語訳＞

新約聖書6頁

マタイ 5章13～節

＜新共同訳＞

新約聖書6頁

マタイ 5章13～節

＜新改訳第3版＞

新約聖書6頁

マタイ 5章13～節＜塚本訳＞

新約聖書76～頁

主題:主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、**ユダヤ人**の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。

◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト**様の**山上の垂訓・説教**と表現される箇所です。

◇本日は、**マタイ5:13**から、教会総会にあたり、「**地の塩**」であると、主の祝福のことばを味わいたいと願います。

⇒「**地の塩**」の、「**地**」は、地面という意ではなく、「**世の光**」の「**世**」と、同じ意味で、「**世界の人々**」を言います

⇒**ヨハネ1:11**にある「**世**」は、「**罪の世・罪深い人間**」を意味しますが、「**世の人々**」の意味します。

⇒主が、「**あなたは、地の塩です(13)**」と、言われる時は、「**塩**」は、「**塩気**」という大事な役目が託されているのです。

⇒私たちは、托さえた「**塩気**」を求められた人々に喜んで提供すればよいので、頑張ったり、気張ったりする必要はなく、提供を拒ばないことすればよいのです。

本論；

◇本日、**マタイ書5章13節**から主の**使信**に
思い・心をとめます。

◆**マタイ5章13節**；使徒マタイは、神の御子
イエス・キリスト様の「**あなたは、地の塩です**
(13)の**ことば**を通して、**福音を語って** います。

◇**13～16節**；塚本訳◆**地の塩・世の光**

「13 (預言者と同じく)あなた達は地の塩である。
(世の腐敗を防ぐのが役目である。)しかしもし塩が馬鹿になったら、何で(もう一度)塩気をもどすか。外に捨てられて人に踏まれるほか、もはや何の役にも立たない。

14 あなた達は世の光である。山の上にある町は隠れていることは出来ない。

15 また、(せっかく)明りをともして柎をかぶせる者はない。かならず燭台の上に置く。すると、家の中におる人を皆照らすのである。

16 そのようにあなた達も、その光を世の人の前に輝かし、人があなた達の良い行ないを見て、あなた達の天の父上をあがめるようにせよ。」と、**使徒マタイ**は語っています。

◇**マタイ5:13節**；「(預言者と同じく)あなた達は地の塩である。(世の腐敗を防ぐのが役目である。)しかしもし塩が馬鹿になったら、何で(もう一度)塩気をもどすか。外に捨てられて人に踏まれるほか、もはや何の役にも立たない」と、「**御子イエス・キリスト様**」は、「**主の弟子たち**」に、「**祝福のことば**」を与えて下さいました。

⇒「**地**」は、「**世**」と同様、「**世の人々**」を意味しますし、「**塩**」は、「**塩気・味付け**」で、弟子たちは、「**世の人々に塩気・味付け**」を提供する役目がある、ということです。

⇒「**塩**」は、「**塩気・味**」を与えられていますので、頑張っ、「**塩気・味**」を出そうとする必要は、ありません。

⇒クリスチャンだから、クリスチャンらしく生きなくては、と考える必要はありません。

⇒問題は、「**塩・塩気**」の役目を忘れて、思い煩いや**神不信**に陥ることです。

⇒**SY師**は、「**塩**」は、何かの中に入れ、混ぜ合わされて、役目が果たせると仰せです。

⇒また、当時は、「**岩塩**」が、砕かれて、「**塩**」が、

精製されましたので、「**義のために迫害されている人は幸いである。天国は彼らの者である**」(マタイ5:10)が、想定されていると言われます。

⇒いずれにしても、「**神の備え**」があつて、心の内に、「**塩・塩気**」が、与えられていることが幸いです。

結論；

- ◇**神**は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、**ユダヤ人**の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
- ◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の**山上の垂訓・説教**と表現される箇所。
- ◇本日は、**マタイ5:13**から、教会総会にあたり、「**地の塩**」であると、主の祝福のことばを味わいたいと願います。
 - ⇒「**地の塩**」の、「**地**」は、地面という意ではなく、「**世の光**」の「**世**」と、同じ意味で、「**世界の人々**」を言います
 - ⇒**ヨハネ1:11**にある「**世**」は、「**罪の世・罪深い人間**」を意味しますが、「**世の人々**」の意味。
 - ⇒主が、「**あなたは、地の塩です(13)**」と、言われる時は、「**塩**」は、「**塩気**」という大事な役目が託されているのです。
 - ⇒私たちは、托さえた「**塩気**」を求められた人々に喜んで提供すればよいので、頑張ったり、気張ったりする必要はなく、提供を拒ばないことすればよいのです。
- ◇〈口語訳〉 **ピリ 2:17** そして、たとい、あなた

がたの信仰の供え物をささげる祭壇に、わたしの血をそそぐことがあっても、わたしは喜ぼう。あなたがた一同と共に喜ぼう。

⇒コロナ・ウイルスの蔓延で、教会総会も制限された形です。

⇒主は、目的をもって、業をなさいます。主を喜ぶこととは、力です(ネヘミヤ8:10)。